

16番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
1. 女性の管理職を増やし意思決定の場に女性が半数いる自治体を目指して 【質問趣旨】 長く続いてきた男性中心の社会で働き続けてきた女性たちは、結婚出産を経験していれば家事や育児など家庭でのケア労働をこなした上で、覚悟を持って男性と同等の責任や仕事を担い「女性が働く道」を切り拓いてきました。また、結婚や出産を経験していない女性は、社会的、政治的に作られ上がったジェンダー（男女の生き方、役割、特性、関係性、性別分業などに関して、「こうあるべき」「こうあるのが自然」という考え方や価値観、社会規範や社会意識など）を押し付けられ女性であるということによって理不尽な扱いや不利益を受けてきました。(次)	(1)「瀬戸市長 女性の活躍推進 行動宣言」について (2)意思決定機関の男女比率	①市長は令和5年9月1日付で、「瀬戸市長 女性の活躍推進 行動宣言」にサインをしています。これを宣言した市長に伺いますが、掲げられた具体的な行動を進めることで、本市がどのようなまちになることを目指しているか具体的に伺います。 ②公開されている市のホームページには「女性の活躍推進は、多様な生き方・働き方を認め合い、全ての人が生きやすい・働きやすい社会へと繋がります。」と記されていますが、これは、これまでの男性中心の社会では実現しにくかった部分を、女性の積極的な参加で切り拓いていくという意味が感じ取れますが、見解を伺います。 ③行動宣言は、本市のまちづくりの視点に女性の活躍を位置付けていると考えますが、宣言の三つ目には「女性職員の管理・監督への積極的な登用を図ります」とあります。市の組織の中に、女性の管理職が増えていくことで「多様な生き方・働き方を認め合い、全ての人が生きやすい・働きやすい瀬戸市」の実現につながっていくと考えてよいか伺います。 ④今年度は部長級の職員は17人中、女性は1人の5.9%、課長級は82人中14人の17.1%です。この現状に対する評価と、本市で、女性の活躍や管理職への積極的な登用が進まなければ、どのような影響が生じると考えているか見解を伺います。 ①本市には各庁議の最高機関として「政策会議」が位置付けられています。政策会議は「市長の行う政策決定に資する意見交換及び協議並びに全庁的な重要政策に関する課題共有及び進捗管理を行う機関」とされていますが、政策会議は本市の最高意思決定機関と考えてよいか伺います。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。

2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。

3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

16番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
こうした長い歴史の中でも時間をかけて「男女平等」が少しずつ進み始め、現在では「ジェンダー平等」というキーワードを日常的に耳にする社会へと変化してきています。 しかしながら、ジェンダー平等な社会は自然に実現するものではありません。男性だけでなく女性も含め性別に関係なく意識を変えていくことと、環境整備を具体的な目標をもって進めていかなければ前に進まないどころか、逆戻りしてしまう危険性もあります。 社会は男性のみで構成されているわけではないのに、ジェンダー平等社会が実現しなければ意思決定の場に女性が増えることはなく、大切なこ (次)	(3) 瀬戸市特定事業主行動計画について	②政策会議は「市長を議長とし、副市長、教育長、企画部長、総務部長、経済文化部長、市民生活部長、健康福祉部長、都市整備部長、消防長、教育部長、市長から特に命ぜられた者」と構成員が決められています。現状、政策や方針を決定していく意思決定の場である大変重要な会議に女性がいません。行動宣言に掲げられた「多様な生き方・働き方を認め合い、全ての人が生きやすい・働きやすい社会」や「ジェンダー平等な社会」の実現には、意思決定の場に女性が半数いる必要があると言われていますが、このような管理職の構成がされていることについてどのように考えているか見解を伺います。 ①サブタイトルに「性別に関係なく全ての職員が生き生きと働ける職場に向けて」と掲げられている本計画の概要と目的を伺います。 ②本計画を推進し目標を達成するために取組方針が4つあります。3つ目の取り組みの「全ての職員の活躍促進に向けた取り組み」の重点項目として「管理的地位にある職員に占める女性職員の割合の向上、ハラスメントの防止」が記されています。 令和7年6月10日付の「瀬戸市特定事業主行動計画に基づく取り組みの実施状況の公表」の2ページ目に、管理的地位にある職員に占める女性職員の割合が報告されています。平成28年度から令和6年度の計画期間中、課長級は9.4%から徐々に増え17%を超えましたが、部長級に関しては令和2年度から増え始め令和3年度の13%をピークに減っています。いずれも目標に届いていませんが、その要因や背景を伺います。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。

2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。

3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

16番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
とを決める時に男性中心の思考で偏った判断や決定が行われてしまいます。 ジェンダー平等なまちを実現するために、市役所の組織の現状と課題を明らかにし、性別に関係なく全ての職員が平等に責任や権利、機会を分かち合える組織となることを求め質問します。	(4) 意思決定の場に女性を増やすための取り組み	③本計画9ページの取組内容に女性職員のキャリア形成支援があり「結婚や出産など、ライフイベントに影響を受けやすい女性職員に対するキャリア支援として、仕事と生活との両立への不安や、昇任への迷いを解消させるためのキャリア・デザイン研修を実施します」とされています。産休・育休を経て職場復帰し、部分休業や育児短時間勤務を取得しながら働く職員も、その年代その時期にふさわしい責任のある仕事を任され、上司や仲間のサポートを受けながら引き受けていく事でキャリアが形成されていくと考えます。どのように考え、どのような支援を行っているか伺います。 ④同じく本計画9ページの取組内容の女性職員のキャリア形成支援に「若手女性職員を対象に、女性役職者のロールモデルを紹介するほか、女性先輩職員からのキャリアビジョンに関する講和を実施するなどして、若年層から意識改革に努めます」とあります。若手女性職員が年代に関係なく職場で活躍し「いずれ管理職を目指したい」「抜擢されたら躊躇せず引き受けたい」と思えるような意識改革を目指すために、本市ではロールモデルとして人物像の設定はあるか伺います。 ⑤職員が昇任していく過程はどのような流れになっているか伺います。 ①本市の様々な課題を乗り越えていくためにも最優先で解決しなければならない課題が、市役所組織のジェンダー平等の実現であると考えます。意思決定の場に女性職員を増やす、つまり意思決定できる立場に女性職員を増やしていくために、現在の管理職が瀬戸市特定事業主行動計画を理解し確実に実行していく必要があると考えますが、見解を伺います。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

16番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル（大項目）	質問項目（中項目）	具体的質問内容（小項目）
		②目的は数値目標をクリアすることではありませんが、毎年確実に目標をクリアしながらジェンダー平等な組織を作っていく必要があると考えます。市長は、具体的にどう取り組んでいくのか伺います。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

16番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
2 子どもと親が安心して過ごせるインクルーシブな場所の整備 【質問趣旨】 近年は夏の災害級の暑さや突然の大雨などもあり、障害の有無に関係なく、子どもや保護者から、広くて安心して過ごせるインクルーシブな遊び場を求める声が届いています。そして同時に、親とは同居せず共働きで子どもを育てる家庭が増え、子育ての相談や子どもの発達相談、就園・就学の相談などが気軽にできる場を求める声もあります。 本市では、親子で遊びに行った先に、子育て等の相談に乗ってもらえる施設もありますが、障害の有無に関係なく (次)	(1) インクルーシブパークの整備について (2) 遊びに出かけた先に相談窓口があることの重要性	①障害がある子どもをもつ保護者の皆さんからインクルーシブパークを整備してほしいという要望が届いています。また、令和5年3月23日付で瀬戸市議会都市活力委員会から、市に対して「インクルーシブパーク整備の実現に向けて」という提言書を提出しています。提言をどのように受け止め、その後どのように取り組みが進んでいるか伺います。 ②インクルーシブな公園の必要性を求める方の中には、障害のある子の兄弟姉妹は障害がないが、インクルーシブな公園として整備されていないと、一緒に公園へ行っても障害のある子は遊べる遊具がないなど、行き先に困ってしまうという悩みも聞いています。本市に、大きな屋根を設置した広いインクルーシブな公園を整備してほしいという要望が届いていますが、見解を伺います。 ③近年の夏の暑さや突然の大雨などで、特に体温調節の難しい障害のある子たちは外遊びを躊躇してしまいます。障害の有無に関係なく屋内で季節や天候に関係なく、体を動かして遊べる広い施設が必要と考えますが、見解を伺います。 ④障害の有無に関係なく子育て中の親が子育ての悩みを相談したい時に、悩みは市役所の担当課や相談窓口ごとに出てくるものではなく、それらを整理して相談に行くことは簡単なことではありません。 現在本市に、障害の有無に関係なく市の施設に遊びに出かけた時に子育ての悩みを相談できる窓口があるか伺います。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。

2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。

3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

16番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
乳幼児期を過ぎてもインクルーシブに受け入れられる環境は整っていません。 障害の有無に関係なく安心して遊べる屋内の広い遊び場と相談支援窓口を併設した子ども子育て総合施設の設置計画を、子育て政策として掲げていくことを求め質問します。	(3) 特別支援学校の一部及び萩山小学校等の利活用について	②子どもと一緒に遊びに行った先で、我が子や自分の子育てについて気軽に話せることで悩みが解決することもあります。解決しない場合は、話を聞いた職員が困りごとを整理して必要なサポートや相談窓口へつないでいくことが重要と考えます。遊びに出かけた先に相談窓口があることの重要性についての認識はおそらく一致していると考えますが、併設している遊び場の広さは十分であるか、また障害のある子どもと一緒に安心して遊べる環境やスペースが整っているか伺います。 ①菱野団地の3小学校が統廃合され、令和10年度には、現在、萩山小学校内にある瀬戸特別支援学校さくらんぼ学園小学部と、光陵中学校にある中学部・高等部が、現在の萩山小学校敷地において統合される予定です。 現在教育部では、統合に向けて萩山小学校の一部と運動場とプールの利活用について民間事業者にも相談しながら検討しており、検討するにあたり設置施設の条件が2つあげられています。 1つ目は、福祉施設として「瀬戸特別支援学校に併設する特性を踏まえて、市民等の自立及び社会参加のためのその生活全般にわたる支援を図る施設であること。」 2つ目は、子育て支援施設として「瀬戸特別支援学校に併設する特性を踏まえて、未就学児、児童生徒やその保護者を対象として、育児に抱えている不安の解消や子育てをしやすい環境を整える事業を実施する施設であること。」とされています。 いずれも「瀬戸特別支援学校に併設する特性を踏まえる」という柱を示したねらいと、併せてどのようにしてこの条件が設定されたのか伺います。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。

2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。

3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

16番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(4) 子育て政策として相談機能を有するユニバーサルな施設の設置	②設置施設の条件の2つ目には、子育て支援施設という条件が設定されていますが、提案されている施設の対象者は、地元や特別支援学校の在校生・卒業生とその親に限ったものではなく、市全体を視野にいられていると考えてよいか伺います。 ③瀬戸特別支援学校さくらんぼ学園のコンセプトにもインクルーシブ教育というフレーズがあるように、隣接する新たな施設は対象者や利用者をインクルーシブに受け入れられることがポイントになると考えます。設置条件に掲げている「未就学児、児童生徒やその保護者を対象として、育児に抱えている不安の解消や子育てをしやすい環境を整える事業」は、障害の有無に関係なく誰もが安心して利用できるインクルーシブな施設となることが望ましいと考えますが、見解を伺います。 ①現在、旧深川小学校の跡地活用の計画から「子育て支援施設」が一旦見直されているものの、子どもやその親が遊びに行ける場所、相談できる機能は全市的に求められています。また、令和10年度に統合される予定の瀬戸特別支援学校さくらんぼ学園の敷地内にも、同様に、子どもや保護者を対象とした育児の不安解消や子育てしやすい環境を整える子育て支援施設の設置が検討されています。 障害の有無に関係なく安心して遊べる屋内の広い遊び場と、子育て、発達、就園・就学などの相談支援窓口を併設した、子ども子育て総合施設の設置計画を子育て政策として掲げていく必要があると考えますが見解を伺います。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。